

棕本 真理子 MUKUMOTO Mariko

専門分野	彫刻	
学位	修士（造形）	2013年3月取得
	武蔵野美術大学大学院 造形研究科 美術専攻 彫刻コース 修了	
着任年月日	2020年4月1日	
教育理念・方法	<p>専門的な技術の習得や知識を深め、得たものを活かし一つの領域に留まらず様々な分野で活躍できる人材の育成。個人の技術や思考の探究だけではなく、他者との議論や他者と協力することで実現できる課題(他者と開催する展覧会・大型作品制作など)を通し社会的な思考を育む。</p> <p>選択肢を広げ幅広い知識や思考を身に付けることができ、選択した素材に限らず学生や教員とコミュニケーションが取りやすいよう、一つの工房に限定せず自由な工房の行き来を可能としている。</p>	
2021年度 研究成果	<p>【作品発表】 グループ展『みとう 衣川明子、長谷川さち、棕本真理子』(2021年7月、照恩寺) グループ展『テラスアート』(2021年7月、テラスモール湘南) グループ展『playground プレイグラウンド』(2021年11月、亀戸アートセンター)</p> <p>【研究】 『武蔵野美術大学 研究紀要 2021-no.52』 <制作ノート>「モチーフの変遷をたどる」</p>	
2022年度 教育・研究目標	<p>【教育目標】 次世代の幅広い作家の輩出や学科発展のための設備拡充や環境整備、閉鎖的な場でなくコミュニケーションの取りやすい場を作っていく。デジタル分野など新素材・方法に対応可能な環境の確保を目指す。</p> <p>【研究目標】 素材研究や制作の探究と並行して、これまでの発表や研究分析を発展に繋げていくことを目標に、展覧会の企画なども積極的に行っていく。</p>	